

みやのわ 情報局

10月

浸水被害地で炊き出し

10月23日、台風19号による浸水被害にあった被災者を支援するため、宇都宮市千波町にて炊き出しを行いました。病院職員20名が協力し、パスタやポトフなど150食を提供しました。

宇都宮地区では、被災者を支援しようとNPO法人「とちぎボランティアネットワーク」により「炊き出しセンター」を16日に発足。炊き出し場所を用意し、活動するボランティアや、食事の提供ができる団体や企業、飲食店を募っています。

被災時は地域全体で支援することが重要であり、今回の活動がその一助になれば幸いです。困難な状況で頑張っている人たちが、温かい食事を食べてひと時でも笑顔が見られることを祈っています。



炊き出しの様子

11月

「もしも」に備えて…災害訓練を実施しました



災害訓練の様子

11月2日、第18回災害訓練を行い、職員259名が参加しました。今回の訓練は、震度6強マグニチュード7.0の宇都宮市直下型地震が発生し、当院近隣で建物倒壊・道路損壊などの被害を受け、傷病者が多数来院する想定で行われ、発災から傷病者の受入・転院に至るまでの一連の動きを実践的に確認しました。

近年大規模な災害が毎年のように発生しており、日ごろの備えが重要とされています。今後も、基幹災害拠点病院としての体制強化に取り組んでまいります。

*とちぎテレビの取材が入り、訓練の様子が放映されました。映像は当院HPでご覧いただけます。

11月

糖尿病患者チームの活動

全国糖尿病週間の活動として、11月13日、エントランスホールで「第7回さいみや糖友展」を開催しました。無料の血糖測定やInBodyを用いた体成分分析、栄養相談などが行われ、多くの患者さん、ご家族が来場しました。

また、11月16日には、第6回糖尿病市民公開講座「いきいきエンジョイ! 糖尿病ライフ」を講堂みやのわホールにて開催し、約90名の地域住民の方が参加しました。糖尿病・内分泌内科主任診療科長の友常健医師を座長に、医師、薬剤師、管理栄養士による各種講演や理学療法士による運動教室が行われました。今後も地域への教育活動を積極的に行ってまいります。



市民公開講座での運動教室